

## 学生交通費等の支援について

学生の国際通用性や若手研究者の育成を積極的に推進する観点から、幾つかの講義科目について、下記の要領で学生の交通費等の支援を行います。

### 記

#### 科学コミュニケーション

事項	補助項目	備考
合宿参加費	宿泊費	連大から本人へ支給
開催地への移動・必要な前泊	交通費・宿泊費	連大から本人へ支給 (開催地(開催大学)所属 以外の学生に限る)

合宿のための参加費(宿泊・食事等)は、参加時に徴収しますが(2.4万円程度)、すべてのプログラム参加後、旅費支給規定に基づいて定額分の補助が支給されます。

開催地(開催大学)所属以外の学生が参加する場合は、自宅もしくは所属大学のどちらか近い(旅程上安価な場合も含む)方から陸路計算で積算された交通費相当額及び必要な前泊分の宿泊費を補助支給します(すべてのプログラム参加後)。

#### 研究インターンシップ

事項	補助項目	備考
カナダ・サスカチュワン大学 (連携協定)	交通費、宿泊費	連大から本人へ支給
東北農業研究センター(連携大学院)	交通費、宿泊費	主指導教員の研究費へ配分
岩手生物工学研究センター(連携大学院)	交通費、宿泊費	主指導教員の研究費へ配分
青森県産業技術センター(連携大学院)	交通費、宿泊費	主指導教員の研究費へ配分
東北農林専門職大学(連携大学院)	交通費、宿泊費	主指導教員の研究費へ配分
福島国際研究教育機構(連携大学院)	交通費、宿泊費	主指導教員の研究費へ配分
上記以外の国内研究インターンシップ	交通費(上限10万円)	主指導教員の研究費へ配分
上記以外の海外研究インターンシップ	交通費(上限15万円)	主指導教員の研究費へ配分

#### 国際学会コミュニケーション

事項	補助項目	備考
海外での国際学会	交通費(上限15万円)	主指導教員の研究費へ配分

日本国内での国際学会への交通費は連大からの補助はありません。

学位申請後の旅費補助及び単位認定は行いません。

国際学会コミュニケーションで単位付と及び交通費支援の対象となるのは、筆頭者で実際に口頭発表またはポスター発表を英語で行った学生に限ります(単なる連名者、学会参加者は含まれません)。

また、所属名は必ず「岩手大学大学院連合農学研究科(the United Graduated School of Agricultural Sciences, Iwate University)」としてください。

## デュアル・ディグリープログラム

事項	補助項目	備考
サスカチュワン大学への渡航費（在籍期間中往復1回分）	交通費	連大から本人へ支給 （日本から参加する場合）

注1) 連大派遣のカナダ・サスカチュワン大学以外の研究インターンシップ及び国際学会コミュニケーションの学生交通費は、11月末で締めきり、1月に研究費を主指導教員に運営費交付金として配分します。12月以降に実施した場合の学生交通費は、翌年度研究費（運営費）として配分します。また、旅費は一旦主指導教員の研究費（運営費）から支給されます。各構成大学において旅行命令伺（旅行計画）及び計算書を作成してください。主指導教員は、研究インターンシップ・国際学会コミュニケーション実施後に、各構成大学において作成された旅行命令伺（旅行計画）及び計算書の写しを、連大事務室までご送付願います。配分する交通費については、各構成大学において作成された旅行命令伺（旅行計画）及び計算書に記載された交通費を基に計算します。それ以外の場合は、支援の対象となりませんのでご注意ください。上限10万円（国内研究インターンシップ・連携機関以外）もしくは15万円（海外研究インターンシップ・連携機関以外）の補助については、交通費にのみ適用されます。この場合の宿泊費および日当に関しては、各構成大学の旅費規則に従ってください。

注2) 補助につきましては、在籍期間中いずれも1回分まで補助いたします。

注3) デュアル・ディグリープログラムの学生への研究インターンシップ及び国際学会コミュニケーションの交通費補助はありません。

注4) すべての交通費は自家用・公用車等の使用は支給対象外です。

注5) 海外でのバック料金の場合、宿泊費がわかる資料を提出していただきます。

注6) すべての宿泊費は宿泊施設が発行する「宿泊証明書」を提出していただきます。